

# 道徳的価値の自覚を深める指導の工夫

一心の中の見える化と自分を見つめる書く活動を通して

児童の実態

特別研修員 道徳 小宮山貴子（小学校教諭）

自分の気持ちを優先しがちである。自分の言動が周りにどんな影響を与えるか気付いていない。

手立て1

道徳的価値の理解にせまる  
心の中の見える化😊

手立て2

今までの・これからの  
自分を見つめる書く活動



## 道徳の時間

「自分のことばかり考えている心」(水色)と  
「周りの人のことを考える心」(ピンク)の対比

実践1 4-(1)社会の決まりを守って  
「雨のバス停留所で」

児童の道徳ノートより

**心情円**

バスを待っている間、よし子は誰のことばかり考えていますか。

知らぬふりをしているお母さんの横顔を見ながら、よし子はどんなことを考え始めたでしょうか。

よし子は自分のことばかり考えています。

どうして抜かしてしまったのだろう。他の人に迷惑をかけてしまった。人のことを考えていなかった。

普通の生活を想起させる写真(整頓された机や椅子)

「やくそくやまもり」ということは大事なことは、あいての気持ちを考えてさきのこと考えることが大事。みんながいやな気持ちにならないようにわたしは図書委員会で、おくれそうなきにろうかきほしてしまいます。でもこれからはろうかきほしらないで、いそいでいるときでも、やくそくをまもりたいです。

よし子は、はじめは自分のことばかり考えていたんだ。でも、自分の行動を振り返って、周りの人のことも考えるようになったんだね！

道徳的価値を自分の言葉でまとめ、具体的な場面で自分を振り返ることができている

実践2 A-(2)正直に明るい心で  
「六セント半のおつり」

「自分の失敗から目を背けようとする心」(水色)と  
「自分の失敗を認めて前向きに考える心」(ピンク)の対比

児童の道徳ノートより

**板書で色分け**

おつりの間違いに気付いたエイブは、どんなことを考えたでしょう。

どうしよう。怒られる。今度返そう。面倒だから後でいい。

返した方がいい。届けに行こう。待っているかもしれない。困っているかも。

おつりをすぐに返しに行ったエイブは、水色とピンクのどちらの心を使ったのでしょうか。

ピンクの心「自分の失敗を認めて前向きに考える心」を使って、エイブは笑顔になったんだ！

**ハートグラフ**

六セント半のおつり  
正直

今まで「正しいことをしたい」という心がどれぐらいあったと思うか、ハートに色を塗らせる

わたしは、六セント半のおつりを読んで今までの自分をふりかえることができました。1つ目は自分のしたいこととは、きり言うことができるけど自分のしたわるいことは、しきじにいうことができないとわかりました。自分はいえないうのエイブは、たも円なの返返しにいくと考えると、でも正直だと思いました。わたしもうなをついたことがたくさんあります。でもたごれがま、かけてけんかをしたこともあります。エイブみたいにすなおでやさしい人になりたいです。

主人公のよさを理解して、これからなりたい自分をイメージすることができている

### 成果

- ・心情円で表したり色分けをしたりして、登場人物の「心の中の見える化」をしたことで、道徳的価値の理解にせまる話合いができた。
- ・普段の様子を想起させる写真を見せたり、今までの自分を振り返ってハートグラフに表させたりしたことは、自分との関わりで道徳的価値を捉えさせる上で効果的だった。
- ・「今までの自分は、～の時、～だった。これからは、～したい。」と具体的な場面で振り返りする児童が増え、道徳的価値の自覚の深まりが見られた。

### 課題

- ・更に道徳的価値の理解を深めるため、児童から出された考えを受け止めるだけでなく、問い返しやゆさぶりの発問を工夫していく。
- ・児童が自分との関わりで道徳的価値を捉えられるような手立てを工夫していく。